



め た せ こ い あ

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742

HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

『教育の魅力化』について

吉賀高等学校 校長 熊谷 修山

島根県教育委員会が、来年度からの新機軸として打ち出した方針が『教育の魅力化』です。目的は「『離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業』の成果を活用し、高校だけでなく、幼稚園・保育所等から小学校・中学校・特別支援学校も含めた地域総がかりで社会に開かれた魅力ある教育環境をつくり、次の地域社会を担う魅力ある人づくりと新たな人の流れを創出する地域づくりを推進する。」ためです。

簡単に言えば、幼稚園・保育所から小・中・高校まで一体となって教育の魅力化を図れば、「新たな人の流れ」ができる、つまり「魅力的な教育」またはその環境を求めて島根県に移住してくるそれぞれの学齢の子どもとその保護者たちが増えるのではないかと思います。中山間地の高校として吉賀高校が十分に成果を上げたか、また新たな人の流れを作り出せたかどうかについては、県外募集も遅ればせながら始めたばかりですので、まだ十分ではないかもしれません。しかし、実際にしまね留学合同説明会で東京や大阪に行きますと、「小さい学校で、和気藹々としていて、一人一人が大事にされる学校」に対するニーズは間違いなくあると感じています。そういう教育のあり方を求めている生徒・保護者が、確実にあるのは事実です。

先日のある会議で、「吉賀高校のいいところを、県外でしっかりアピールすれば、生徒はもっとたくさん来てくれるのではないか」というご意見をいただきました。この言葉は、大変心強い応援をいただいたと思っています。しかし、考えてみれば、このことは高校ばかりでなく、町内の保育所から小学校・中学校まですべての教育機関に当てはまるのではないのでしょうか。私はこの秋、保育所・小学校・中学校の運動会や文化祭を見学させていただきましたが、どの会場でも子どもたちが一生懸命活動していて、そこに保護者の方だけでなくたくさんの地域の方々が参加されていて、子どもから大人まで一体となって盛り上がり、すばらしい活動が展開されていました。このことは、まさに『教育の魅力化』の方向性である「地域総がかりで社会に開かれた魅力ある環境」づくりが、吉賀町では既に行われていると言うことに他ならないと思います。吉賀町のすばらしい自然環境の中で行われているこのすばらしい教育のあり方を、吉賀町として島根県の内外に広報すれば、それを求めて吉賀町にやってくる子どもとその保護者も増えるのではないのでしょうか。

皆様ご存じのように吉賀町では施策として「子ども医療費全額助成！（高校生まで）」「保育料完全無料！（待機児童ゼロ）」「給食費完全無料！（吉賀町産の安心・安全な特別栽培米、野菜）」「放課後児童クラブ利用料完全無料！」「通学費助成制度」が行われています。これほどの子育て支援の施策が行われている町は、他にはないと思います。吉賀町のこの支援と、それぞれの学校で行われている「社会に開かれた教育」の内容と、そして恵まれた自然環境とを考え合わせると、『教育』の現場としてこれ以上ないすばらしい環境と言えるのではないのでしょうか。そして、これは「人の流れ」を間違いなくつくり出すことのできる『魅力的な教育』そのものではないのでしょうか。

吉賀高校としてましても、吉賀町の『魅力的な教育』の一端を担い「人の流れ」をつくり出せるように、地域の皆様のお力添えをいただいて、更に教育内容を高めて参りたいと考えています。

2 学 期 校 内 球 技 大 会

12月8日に校内球技大会が行われ、今回も白熱したゲームが展開されました。男子では、バドミントン競技も行われ、大いに盛り上がりました。結果は、3年生の男子が意地を見せ、2つの競技で優勝を勝ち取り、2冠を達成しました。おめでとう！！

【結果】

男子バスケットボール競技	優勝：3年生Bチーム	準優勝：1年生Aチーム
女子バスケットボール競技	優勝：2年生Aチーム	準優勝：3年生Bチーム
男子バドミントン競技	優勝：3年生Bチーム	準優勝：1年生Aチーム
女子バレーボール競技	優勝：1年生Aチーム	準優勝：2年生Bチーム

心の扉 ～人権・同和教育HR～

12月13日（火）6限に人権・同和教育ホームルームの公開授業を実施しました。内容は次の通りです。

- 1年生「ハンセン病問題に関する差別から学ぶ」
- 2年生「差別的な言動に遭遇した時にとる行動を通じて学ぶ」
- 3年生「結婚差別から学ぶ」

1年生はビデオ教材を通して、まずハンセン病に関する知識を得ました。そして2年生の藤本さんと増本さんが、7月に香川県高松市の大島青松園を訪問して、吉賀町出身の大西さんと交流をしてきた報告をナレーション付きスライドで観賞しました。研修報告と感想を聞くことで、生徒たちも身近な問題として捉えて、ハンセン病への理解を深めました。2年生は差別をする人とされる人のそれぞれの気持ちについて考え、差別を阻止するためのシナリオや会話を作成して、伝え合い、グループでの発表を行いました。3年生は「結婚差別」を扱い、将来にある身近な差別事象を題材にして、差別の問題を自らの問題として問い直し、解決に向かう態度を身につけました。

以下は、生徒の感想文からの抜粋です。

「差別が起きた原因を考え、それをどうやったらなくすることができるかを考える。どうしたらいいかを考える。」

「差別する側の人の気持ちになって考えるのは難しかったです。「一緒に考えよう」と声をかけて、正しい情報を広めていくことが私たちができることだと考えました。」

「改めて差別の無意味さと人権の大切さが分かりました。当事者意識をもつこともできたと思います。」



部 活 動 報 告

美術部 ★益田市高校美術展 奨励賞 「熊猫2」 3年2組 前田比奈

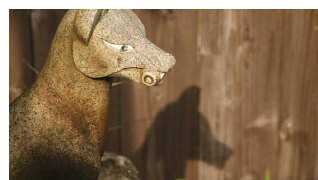
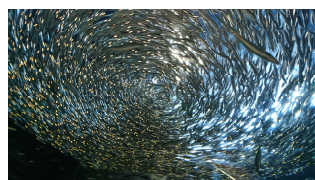
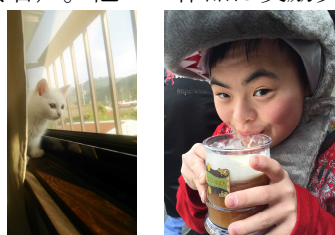
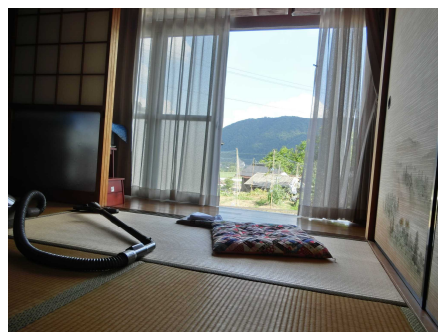
★島根県高等学校文化フェスティバル

第49回 島根県高校美術展 入選 「部室」 2年1組 三浦奈々
入選 「部室の中」 2年2組 大庭智里
入選 「PU-RI-KU-RA」 2年1組 増本春乃

写真部 2016年12月2日（金）～4日（日）の3日間、益田市のグラントワで島根県高校写真展が

開催されました。この写真展は島根県の春季コンクールと秋季コンクールにおいて、特選（全出品作品の10%程度）に選ばれた作品が出品できる写真展です。今年度の高校写真展には258点が出品されました。

吉賀高校写真部からの出品作品は、3年1組 松田あずみさん「あ～ひま」、3年2組 桑原悠菜さん「いいだろ」、3年2組 田屋速斗さん「流れ」、2年1組 永見雄大さん「昼下がり」、1年1組 能美健生さん「影」の5点でした。このうち、永見雄大さんの「昼下がり」が1・2年の部で7席を受賞しました（写真右）。他の4作品は奨励賞を受賞しました。



（左から）松田あずみ「あ～ひま」/桑原悠菜「いいだろ」/田屋速斗「流れ」/能美健生「影」

親 学 プ ロ グ ラ ム 講 座

12月3日（土）にPTA研修委員会主催「親学プログラム講座」を、町の教育委員会の方にご協力頂いて実施しました。中学生の保護者の方を含め、16名が集合。この講座は、親としての役割や子どもとのかかわり方についての気づきを促し、学校・家庭・地域が連携して、地域ぐるみで子育て世代を応援・支援するための参加型の学習プログラムです。

今回は、「吉賀町の子どもたちに示したい大人のふるまい」について、話し合いました。地域の子どもたちに対しての大人のふるまいを考えることで、大人として、親としての社会的な役割に気づくことができた講座でした。参加者全員が終始笑顔で対話でき、アンケートでも全員の方が楽しく参加できたと答えてられました。来年も開催予定ですので、是非参加してみてください。



合 同 柔 道

今年も、吉賀高校の武道場を会場に合同柔道が行われます。合同柔道では、専門の講師の先生を招いて、柔道の授業をしていただきます。1回目は、12月7日に吉賀町内四中学校の3年生を対象に実施されました。生徒たちの一生懸命さ、楽しく柔道を学ぼうとする姿が印象的でした。柔道の技術だけではなく、感謝の気持ち、相手を思いやる気持ちなども学べたのではないかと思います。今後、1月に3回合同柔道が実施されます。寒い中ですが、生徒の皆さんにとって心身ともに鍛えることのできる良い機会になればと期待しています。

薬 物 乱 用 防 止 講 座

12月15日（木）、益田警察署から藤原智子さん、益田保健所から薬剤師の竹田宏樹さんに来ていただき、3年生に薬物乱用防止講座を行いました。医薬品の正しい使い方から薬物の種類、体・心や社会に与える影響までたくさんのことを教えていただきました。また一瞬の快楽と引き換えに人生を棒に振ってしまう薬物の怖さについても学びました。生徒代表あいさつとして佐伯文恵さんが「きちんと薬物のことを知って、薬物に手を出さないようにしたい。」と薬物の誘惑に負けない強い意志を語ってくれました。



中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

中高一貫教育コーディネーター 春日亮二

小学生向け科学実験教室は中高理科教育の魅力満載！

12月2日（金）に町内の小学5年生を吉賀高校に招いて科学実験教室が開催されました。今年も、吉賀高校の理科の先生方の指導により、ミニ天体望遠鏡を作りました。また、中学校の理科の先生方は、毎年大人気の液体窒素を使った実験を紹介していただきました。いずれも普通の授業ではなかなか味わえない体験です。吉賀町内には、このような魅力的な授業ができる理科の先生方がたくさんいらっしゃいます。これからも小中高が連携して、「理科の面白さ」をますます広げていきたいと考えています。

